

【 第20回女子ジュニア世界選手権 】

2016年 7月 3日 ~ 17日

ロシア ・ モスクワ

試合結果報告

7 月 9 日 (土)

JAPAN	VS	NED
10	前半	17
15	後半	14
	第一延長	
	第二延長	
25	合計	31

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	中野 智佳			0
2	藤田 明日香		1	1
3	三橋 未来			0
4	高杉 桃加			0
5	河原畑 祐子		4	4
6	和田 涼夏			0
7				0
8	斗米 菜月	2	3	5
9	佐々木 花江			0
10	伊地知 美姫		1	1
11	登川 愛			0
12	神谷 怜名			0
13	山口 絵梨香	1	2	3
14				0
15	澤井 咲良			0
16	大沢アビ直美			0
17	青 麗子	5	2	7
18	渡部 真綾	2	2	4
	合計	10	15	25

試合結果

戦評

試合開始直後から試合への強い想いが空回りし、OFにおいてイージーなキャッチミスやシュートミスを多発し、逆速攻などで6分いきなり0-4ビハインドのスタートとなってしまふ。8分過ぎに青の速攻でやっとファーストゴールを決めるも、オランダの低いラインの6-0DFシステムに対し、連動したオフェンスができず、個々がバラバラとなってしまふ。青が速攻やポストで得た7mTを決め11分4-8とするも、徐々にポストプレーでDFが崩され、18分過ぎ7-13と点差を広げられる。渡部のロング(22分)や斗米のカットイン(27分)などで粘るも、10-17と攻略できずリードされてしまふ。

後半に入りオフェンスがやっとリズムが良くなり、オフェンスが連動しだし、河原畑・斗米のカットインで得点(33分:13-19)。続いてGK大沢のファインセーブから速攻展開となり、青や斗米で加点し、37分16-21と詰め寄る。さらに流れを離さない日本は、速攻で高杉のアシストから伊地知のポストや山口のカットインで18-21と一気にオランダを捉えにかかった。もう一追いというところであったが、オランダもタイムアウトで態勢を立て直し、44分19-25と再び点差を離されてしまふ。52分22-30と勝利は厳しくなったが、それでも河原畑を中心に最後まで諦めず、山口や渡部のロングなどで56分25-30と意地をみせる。最終25-31のスコアでオランダに敗戦。この結果予選ラウンドグループ4位で決勝トーナメント進出となった。

報告記入者 :

岡本 大